

# 一般会計

- 歳入から歳出を引いた収支は37億600万円と黒字になりました。
- 歳入については、市税が新築家屋の増による固定資産税の増加と個人市民税の減により前年度とほぼ同額になりました。
- 歳出については、生活保護費や児童扶養手当支給費の増により保健福祉費が、市債の元金償還の増により公債費が、増加しました。

資料編

# 数字でみる “さっぽろのおサイフ”

※各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

区分	決算額	対前年度 伸び率(%)	主な内容	
歳入	市税	2,582億5,500万円	-0.0	市民税、固定資産税、都市計画税など
	国庫支出金	1,348億200万円	6.8	国から地方公共団体に対して支出される負担金・補助金・委託金
	諸収入	1,225億3,100万円	5.4	預金利子、貸付金元利収入、受託事業収入など、ほかの収入科目に含まれない収入
	地方交付税	1,124億6,300万円	-2.8	各地方公共団体の財政力の不足に応じた国からの交付金
	市債	729億2,700万円	-20.6	市の借入金
	その他	1,056億7,900万円	3.1	地方消費税交付金、使用料、手数料、道支出金など
	合計	8,066億5,700万円	-0.5	
歳出	保健福祉費	1,933億7,700万円	4.9	福祉、保健、医療などの経費 例)生活保護費、医療助成費、児童扶養手当支給費など
	諸支出金	1,239億4,700万円	-4.4	財産取得のための経費や他会計への繰出金 例)財産取得費、国民健康保険会計・下水道事業会計等への繰出金など
	土木費	1,064億円	-4.8	道路や公園の整備など、都市の基幹的な社会資本の整備のための経費 例)道路新設改良費、河川整備費、公園整備費、市営住宅建設費など
	職員費	1,054億4,900万円	-3.4	職員の給与や諸手当のための経費 例)給料及び職員手当等、退職手当など
	公債費	999億8,400万円	4.0	市債の償還などのための経費 例)公債元金、公債利子など
	経済費	797億1,900万円	-0.5	地域経済や観光、農業の振興などのための経費 例)中小企業金融対策資金等貸付金など
	教育費	376億1,000万円	-1.9	学校教育や生涯学習などのための経費 例)小中学校建設費、図書館運営費など
	環境費	161億8,200万円	17.4	環境保全、ごみ処理などのための経費 例)ごみ処理費、環境保全対策費、厚別清掃工場解体費など
	その他	402億8,400万円	-1.3	議会費、総務費、労働費、消防費
	合計	8,029億5,100万円	-0.1	

# 企業会計

企業会計全体では、長引く景気低迷の影響などから収入が伸び悩みましたが、企業債の支払利息の減少や経費節減などにより、昨年度に比べて収支が約43億円改善しました。また、水道事業で口座振替日の任意選択を導入したり、地下鉄事業で割引乗車券ドニチカキップを通年で商品化したりするなど、市民サービスの向上に努めました。

区分	収益的収支			未処分利益剰余金 (-未処理欠損金)	累積資金残高
	収入	支出	差引		
市立札幌病院	204億5,600万円	212億6,200万円	-8億600万円	-146億1,300万円	23億2,000万円
中央卸売市場	20億9,600万円	34億9,900万円	-14億300万円	9億1,500万円	54億2,600万円
路面電車	28億1,400万円	27億200万円	1億1,200万円	2億2,700万円	4億7,200万円
地下鉄	481億8,000万円	549億5,800万円	-67億7,800万円	-3,402億2,800万円	-26億1,200万円
水道	456億7,300万円	441億800万円	15億6,500万円	15億5,100万円	88億3,300万円
下水道	466億4,500万円	461億9,100万円	4億5,400万円	-241億1,700万円	60億7,200万円
合計	1,658億6,300万円	1,727億1,900万円	-68億5,600万円	-3,762億6,500万円	205億1,200万円